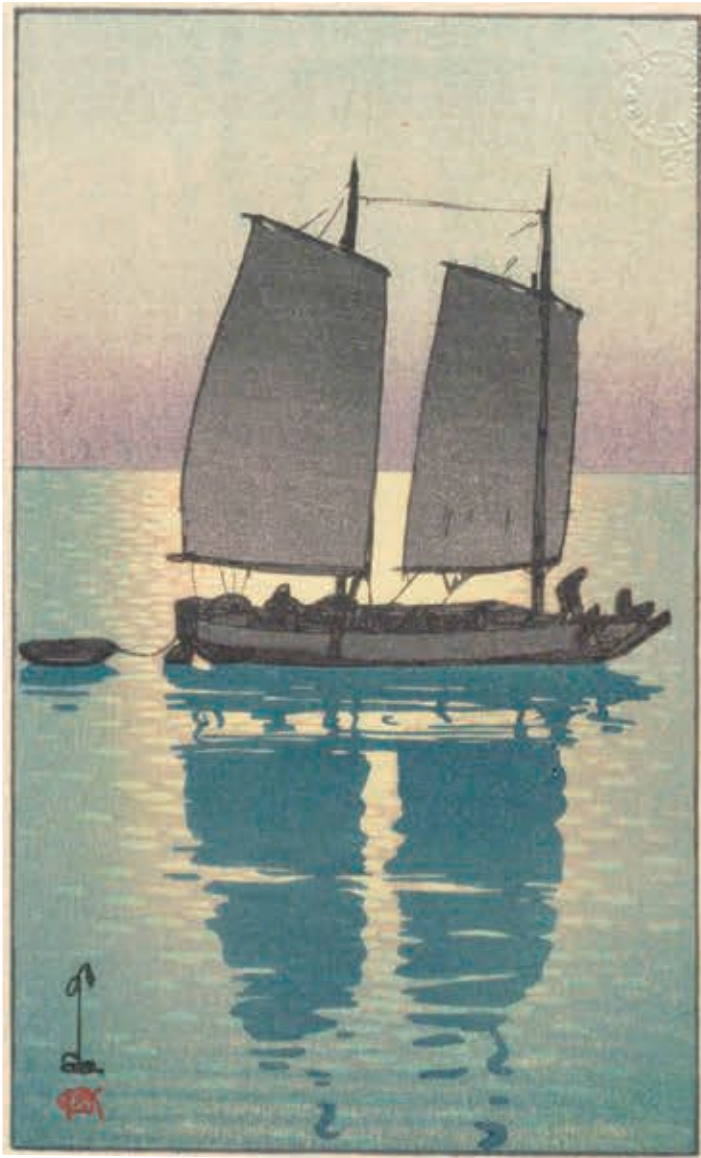


国立 国会 図書館 月報

NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2019.9/10



講演会「私がつ子ども時代に出会った本」角野栄子

日本図書館紀行 宮城県図書館

ある人が国立国会図書館の

インターネットサービスで調べてみた

世界図書館紀行 タンザニアの図書館

国立国会図書館 月報

NO. 701 / 702
SEPTEMBER / OCTOBER
2019
CONTENTS

- 1 Quiz
——なるほど！ザ・ジャパン
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から
- 5 講演会 「私が子ども時代に出会った本」
角野 栄子
- 11 日本図書館紀行 宮城県図書館
- 16 ある人が国立国会図書館の
インターネットサービスで調べてみた①
- 21 世界図書館紀行 タンザニアの図書館

- 20 館内スコープ
施設のことなら、なんなりと
- 28 本屋にない本
『盲導犬と歩く』
- 29 NDL Topics

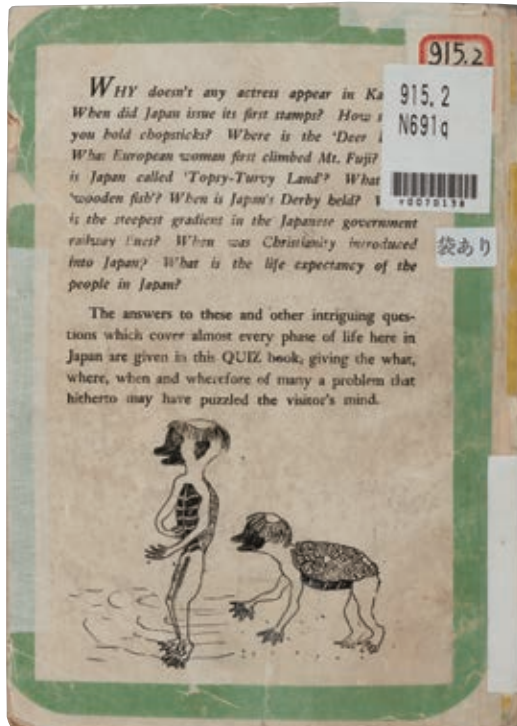


表紙：A Junk
Japanese woodblock printing by Hiroshi Yoshida
Sanseido [1939]
ix, [3] 136 p. [24] leaves of plates (some col.) : ill. ; 27 cm
<請求記号 761.2-Y66j >

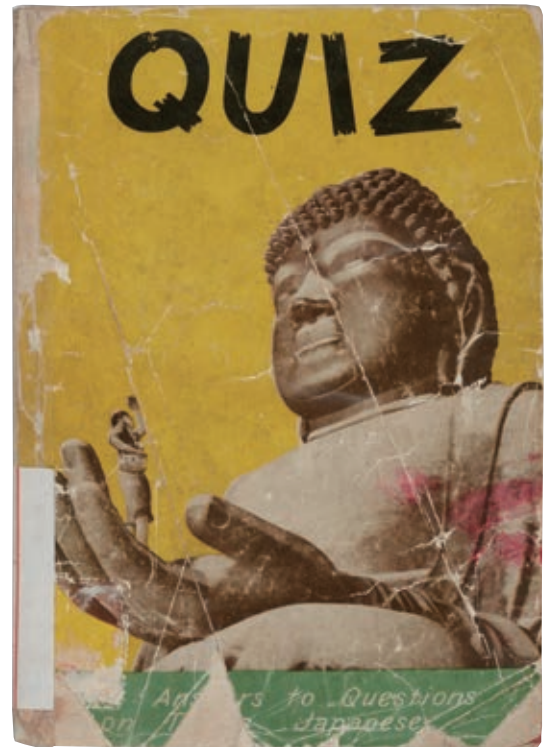
Quiz

——なるほど！ ザ・ジャパン

西川 久司



(右) 表紙
(左) 裏表紙



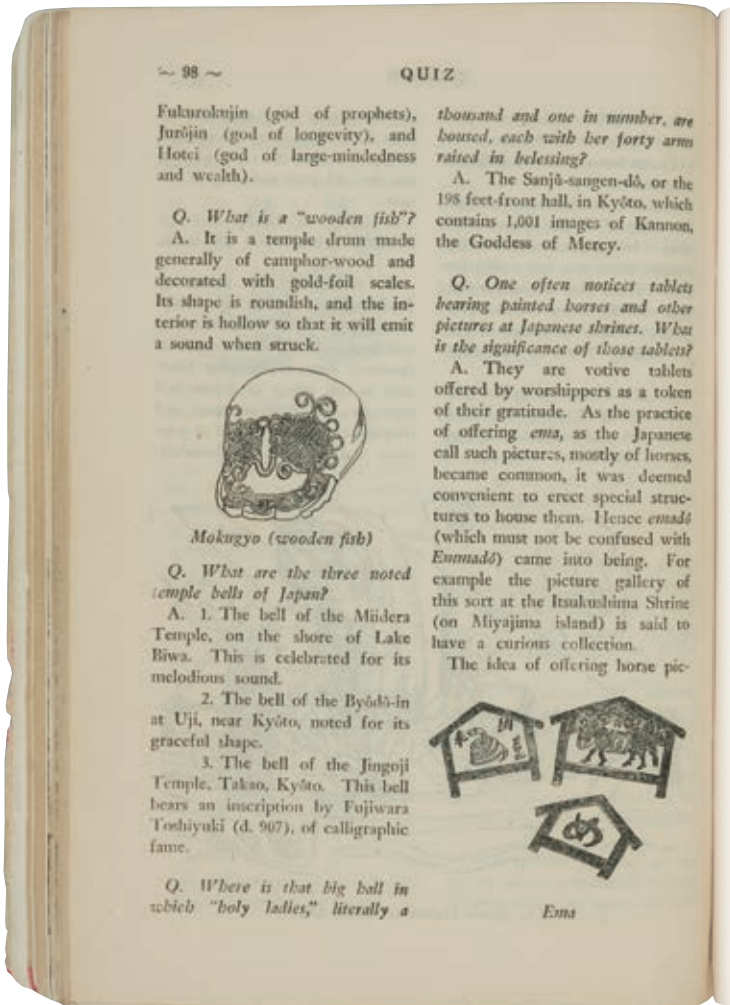
Quiz
くいず 700 answers to questions on things Japanese
Japan Travel Bureau 1948.12 152p; 18cm <請求記号 915.2-N691q>

昨年（平成30（2018）年）のインバウンド（訪日外国人旅行者^①）の数は、史上初めて3000万人に達した^②。今年（令和元（2019）年）は3500万人を超えるという予測もある^③。さらに来年は東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、日本を訪れる外国人の数は過去類を見ないものとなるだろう。この空前のインバウンド時代に紹介したいのが、『Quiz くいず 700 answers to questions on things Japanese』である。

本書が出版された昭和23（1948）年は戦後の日本が海外からの観光客を再び受け入れ始めた時期にあたる。戦後初の外国人観光客が横浜に上陸したのは、前年12月のことであった。そしてこの時期、我が国には10万人あまりの「観光客ではない外国人」が滞在していた。占領軍の将兵である。

そうした時代において大きな役割を果たしたが、本書を刊行したJapan Travel Bureau＝日本交通公社、現在のJTBである。

当時の公社の業務として、占領軍将兵やその家族を対象にした旅行のあっせんや添乗、旅行情報の提供などがあった。出版部門でも、外国人向けの英文のガイドブックなどを主に発行していた。



"Art"の章で紹介された喜多川歌麿の「小伊勢屋おちゑ」。一瞬この本を読んでいるように見えないかもしれないがもちろんそんなことはなく、手にしているのは江戸時代に流行した草双紙の一種・黄表紙である。

クイズを解くのはもちろん、読み物としても楽しめる内容になっている。日本三名鐘については木魚の絵の下(▶)に記載されている。

本書もまた、英語圏の外国人向けに書かれた一冊で、日本の文化を紹介する内容となっている。特徴的なのはその形式である。日本文化を紹介するために、700問ものクイズを用いているのだ。クイズと、それに対する答え・解説を読み進めていくことで日本に詳しくなれるという面白いくりになっている。

なぜクイズという形式が選ばれたのだろうか。それには、当時の世相がヒントとなる。戦時中の昭和18(1943)年に米国でラジオ番組「インフォメーション・プリーズ」が大流行し、日本でもGHQの指導により昭和21(1946)年にこれをもとにしたラジオ番組「話の泉」の放送が始まっている。日米両国でのクイズ番組の流行が、本書製作の後押しとなったのかもしれない。

本書に収録されたクイズだが、これがなかなかよくできており、70年経った今読んでも楽しめる内容である。難易度がそれなりに高く、現代の日本人でも正解するのが難しそうな問題も多い。たとえば次の問題、答えはお分かりだろうか。

Q. What are the three noted temple bells of Japan?

(日本三名鐘に数えられるお寺の鐘は何か?)

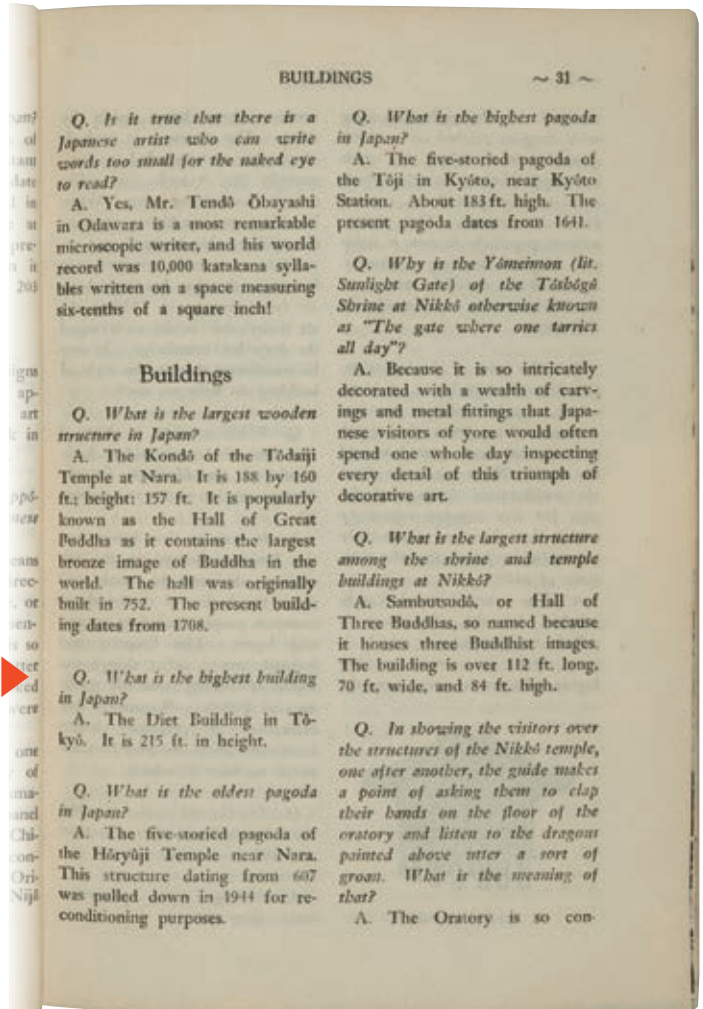


Jan-ken-pon



Kawashibai

上から、歌舞伎、じゃんけん、紙芝居。クイズとともに写真や挿絵が多数掲載されている。



「日本一高いビル」(▶)のほか、「日本一大きな木製建造物」や、「日本一高い仏塔」などのクイズも。

正解は、三井寺みいでら（園城寺おんじょうじ）、宇治の平等院、そして神護寺の鐘がこれにあたるそうだが、三井寺のものは音色、平等院は姿の美しさ、神護寺は能書家で知られる藤原敏行の手による銘文で名高いらしい。「そうだ」「らしい」と書いた通り、恥ずかしながら筆者はこれらについて全く知らなかった。日本人であつても読むことで新たな学びを得られる一冊である。

印象的な問題をもう一つ紹介したい。

Q. What is the highest building in Japan?
 (日本一高いビルは何か?)

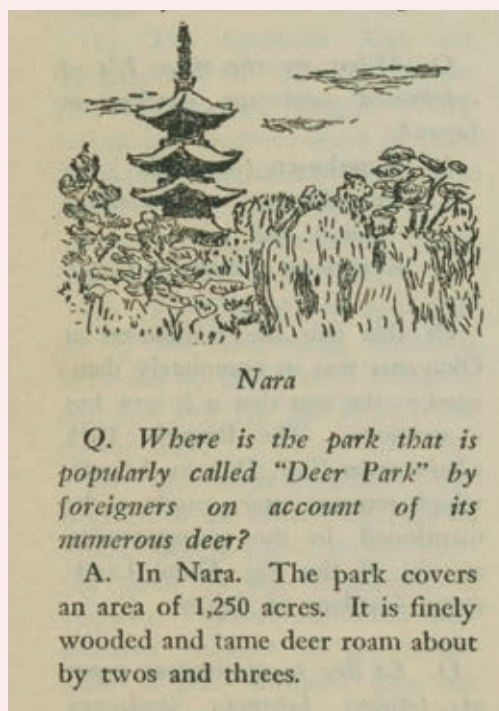
現在ならば正解は大阪のあべのハルカスだが、昭和23(1948)年にはもちろん存在しない。では、当時の日本一は何だろうか。答えは“The Diet Building in Tokyo”つまり国会議事堂である。国会議事堂は昭和11(1936)年からホテルニューオータニ本館が完成した昭和39(1964)年までの28年間にわたって日本一の高さを誇っていた。^(4.5)これを意外に感じる方も多いのではないだろうか。

他にも様々な事物が紹介されている。列挙すると、歌舞伎、じゃんけん、日本ダービー、オオサンショウウオ、河童、日の丸弁当、伊能忠敬、図書と雑誌の出版点数、竹取物語、日本の人口推移などである。本

ガイドブックとしての要素も

旅行社の本だけあって、全国各地の観光名所を紹介する“Places of Interest”という章もある。

香川県観音寺町（当時）の「銭形砂絵」、別府や指宿^{いぶすき}の砂風呂、奈良公園などをイラスト付きで取り上げている。限られた紙幅の中で日本の魅力を少しでも多く伝えようとした執筆者の努力が垣間見える。



1 もともとは、外から中に入り込んでくることを意味する英語だが、近年は外国人旅行者の意味で用いられるのが一般的。
"インバウンド [新語流行語]", 情報・知識 imidas 2018, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>, (last access 2019.05.23)

2 訪日外国人旅行者数、初の3,000万人突破!。日本政府観光局 (JNTO) ホームページ。 https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/181219.pdf (last access 2019.05.23)

3 2019年の旅行動向見通し。JTBグループ 交流創造事業 発信サイト colors。 <https://www.jtbcorp.jp/jp/colors/detail/0170/> (last access 2019.05.23)

4 国会議事堂案内 議事堂建築の概要。参議院ホームページ。 <http://www.sangiin.go.jp/japanese/70/70-4.html> (last access 2019.05.23)

5 第6回 超高層の時代 ～より高く|わたしたちのしごと。日本ファブテック株式会社ホームページ。 http://www.j-fab.co.jp/products/job/10episode_06.html (last access 2019.05.23)

○参考文献

日本交通公社50年史編纂委員会 編『創発の進化へ向けて 創業1912年から1世紀 調査研究専門機関50年の歴史』日本交通公社 2014.3<請求記号 D3-L152>

JTB100周年事業推進委員会 編纂『JTBグループ100年史 1912-2012』ジェイティーピー 2012.9<請求記号 DH22-J1107>

竹前栄治、今泉真理 訳 GHQ日本占領史序説『GHQ日本占領史 第1巻』連合国最高司令官総司令部 [編纂] 天川晃 [ほか] 編 1996.2<請求記号 AZ-271-G2>

『五十年史 1912-1962』日本交通公社 1962<請求記号 680.67-N685g>

日本クイズクラブ同人 編『クイズ年鑑 問題と解答集 1955年 前期』ラジオ・テレビ文化協会 1954<請求記号 779.9-N685k>

書の守備範囲の広さ、内容の充実度の一端をお伝えすることができたろうか。クイズだけでなく、巻末には様々な便利な情報が載っている。たとえば尺貫法(メートル法採用後の当時も依然として広く使われていた)とヤードポンド法・メートル法の度量衡換算表、6世紀の仏教公伝から明治12(1879)年のグラント元米大統領夫妻訪日に至るまでの日本と海外の主要な出来事をまとめた年表などである。本書を読んでさらに興味を持った人向けに、西洋人の書いた日本に関する文献のリストもある。索引も充実しており、知りたい単語を

引くことで本書を日本文化についての事典のように使うことができる。小さな本だが、色々な楽しみ方が可能になっている。米国の国立図書館である米国議会図書館(Library of Congress)は今やワシントンD.C.における名所の一つであり、世界中からの観光客でにぎわいを見せている。もし本書をもう一度作る機会があれば、日本を代表する図書館である当館のことを外国の方に知ってもらうべく、ぜひ次のクイズを掲載していただきたい。

Q. What is the most august library in Japan?

私が 子ども時代に 出会った本

—角野栄子



角野 栄子氏

児童文学作家。1935年、東京生まれ。早稲田大学卒業後、出版社に勤務。退社後、24歳の時にブラジルに移住して2年間滞在。その体験をもとにサンパウロの少年の暮らしを描いた『ルイジニョ少年、ブラジルをたずねて』で作家としてデビューする。「魔女の宅急便」や「小さなおぼけ」シリーズなどのほか、著作多数。2018年に国際アンデルセン賞作家賞を受賞。

国立国会図書館国際子ども図書館では、4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、子どもの読書活動についての関心を高め、理解を深める機会として、講演会シリーズ「私が子ども時代に会った本」を、一般社団法人日本ペンクラブとの共催により、毎年開催しています。

シリーズ第7回となる2019年は、4月21日（日）に角野栄子氏をお招きしました。講演会の様子をダイジェストでお伝えします。（講演筆記・文責 本誌編集担当）

5歳の時に母が亡くなっているもんですから、父が子育てをしたんです。イクメンだったわけね。どうしていいかわからなかったでしょうね、父も。まあ話をしてやろうという気持ちになったんでしょう。講談社で出している昔話絵本¹というのがあって、今復刻されていて、みなさんもきっとご覧になることができると思うんですが、その本を読んでくれました。

まず読んでくれたのは桃太郎さん。父は独特の口調で物語を語ってくれたんですね。父は赤坂生まれの江戸っ子。私は深川生まれ。その頃の人というのはたいしてそうかもしれないんだけど、ラジオで落語を聴くとか、講談を聴くとか、それらから得た言い回しみたいなものが日常の中ですぐく使われていたような気がするんです。

桃太郎さんだったら、「大きな桃が川の向こうから流れてきました。どんぶらこっこう、すっこっこう、どんぶらこっこう、すっこっこう、と流れてきました」

1 「新・講談社の絵本」全20巻



『レ・ミゼラブル 第1部』表紙
ユーゴー 著 宮原晃一郎 訳
冬夏社 大正11
[http://dl.ndl.go.jp/
info:ndljp/pid/969054](http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/969054) (モノ
クロ画像)



『桃太郎 (講談社の繪本5)』表紙
[齋藤五百枝][絵][松村武
雄][文] 大日本雄辯會講談
社 ※ 1937.1 <請求記号 Y17-
N03-H998 >
※現在の講談社

と言うんですよ。まるで絵のように、川の流れとか、そういうものがバートと自分の目の中に浮かんでくるのね。音とか響きとか空気の揺らぎとかっていうのが入ってきて、私の桃太郎さんっていうのができあがっていくわけね。だから他の本を読んでも、なんか違う、という感じがしちゃって。そういう流れ方じゃないと、大きな桃が流れるはずはないし、おばあさんがたらいに載せてお家持って帰って、スパッと切った時に元氣な桃太郎が生まれるわけがないし、と思っちゃう。

父がどういふ風にしゃべったかなと今思い出しても、悲しいかな、録音機もないし、でも、聴いて聴いて聴いたもんだから、やっぱり父の言葉のリズムっていうのが私の中には入っていて、ものを書くときの大変な拠り所になっているのね。あと舌切り雀。思い出すのは、下駄の音なの。雀が、赤い友禅の着物を着て下駄をはいて踊る場面。そこに音がするだろう、それはすごくきれいな音なんじゃないかなと思ったの。大人になってタップダンスというのを聞いて、私ね、下駄のタップダンスというのを考えたのよ。

でも、すでにもう歌舞伎であるのよね(笑)。先人がやったことがみんなの胸の中に残っていて、地下室でつながっているのね。

世の中じゃ、誰が一番初めにやったか、というのがすごく問題なのよ。そんなのおかしいじゃない。子どもの本だっていうと、クマさんが一番主人公としては多い、それで、またクマか、とか、またネコか、という感じがあるわけね。だけどいいじゃない、あなたのクマを書けばいいわけでしょ。

父が話してくれた話の中で一番印象に残っているのはね、『レ・ミゼラブル』と、それから『巖窟王』。そのハラハラ、ドキドキする話っていうのが、すごく頭に残っていて、物語っていうものの楽しさっていうのを私は感じたんだと思うのね。長い話だから一日じゃ終わらない、続きの物語の楽しさというのかな。

例えばね、『巖窟王』っていうのは、最初、小島の牢獄に入れられちゃうの。そこに一緒に、政治的な絡みで囚われている神父がいるわけ。その神父と仲良くなって、いろんなことを教えてもらうんだけど、





『敵中横断三百里』挿絵
山中峯太郎 著 樺島勝一 絵 講談社 昭和6 <請求記号 児乙部 31-Y-3 >



『巖窟王』外箱 (梁川剛一 絵)
[アレクサンドル・デュマ] [原作]
野村愛正 著 大日本雄辯會講談社
1937.12 (14版:1939.4)
<請求記号 Y9-N03-H405 >

神父が亡くなっちゃう。そうすると、遺体と身代わりになって主人公は脱出するわけよ。そして自分を無実の罪に陥れた人たちに復讐をするのよね。すごく面白いと思わない？ 一人一人悪い奴をやっつけていくんだけど、神父は死ぬときにお金の隠し場所を教えてくれたから、主人公にはお金があるの。自分を裏切った女の人なんだけど、でもすごい愛しているとか、そういうドラマティックなのが私の好きなところ。だから、ハラハラドキドキして、こんなのあり!? と思えるようなものを書きたいなあと思っっているの。

* * *

今考えてみると、これ大事な時期なんじゃないかと思うの。今の小さなお子さんたちに、ぜひ、最後まで読めたっていう経験をしてほしいな。最近の図書館って10冊も貸してくれるのよ(会場笑)。つまらなかつたら、すぐ次の本に移れる。本ってちょっと我慢しなくちゃ終わりで読めないのよね。終わりで読めた人っていうのは、きっと自分で本を選ぶことができるし、ずっと本が好きになる。その時出会う本が大切よね。だから角野栄子の幼年童話というのは大切なわけ(会場笑)。

一人で読めるようになったときに読んだ本は、戦時中だったので、山中峯太郎。知らないでしょ。戦後「シャーロック・ホームズ」の翻案をなさった方なの。山中峯太郎とか海野十三とか、スパイものね。『亜細亜の曙』とか『敵中横断三百里』とか。地平線なんかビューっとある挿絵がついてて。きっとモノクロだったと思うんだけど、少年と少女が背囊しょって夕日を見ている絵とかはつきり覚えているのね。物語もやっぱり素晴らしいの。その頃、吉屋信子とか少女小説もあった



『小公女』口絵（加藤まさを 絵） クリスマスの前の晩に物乞いと間違えられ銀貨を施されるセーラ
フランシス・バーネット 原著 水島あやめ 編著 大日本雄辯會講談社 1939.7
<請求記号 Y9-N08-J217 > 協力：加藤まさを事務所・アトリエそらび

らしいんですよ。なぜか私は読んでないですね。戦後読みましたけど、なぜか戦争中はそれを読んでない。ほかに『のらくろ上等兵』とか。いずれも満州とか中国とか広々とした大陸が出てきて、地平線があるわけですよ。私の暮らしたのには地平線はないのよね。だから、広々としていてよかったですね。

並行して読み始めたのが、『小公女』とか『秘密の花園』とか。『小公女』の始まりはインドなんですよね。セーラっていう少女が、お父さんがインドで金鉱なんか掘って、すごくお金持ちになって、セーラはイギリスの高級な寄宿舎に預けられるわけですよ。一人ずつメイドさんがついて、レースとかリボンとか、そういう描写に、へえ、すごいなって思うんだけど、お父さんが亡くなっちゃうの。そうすると、ないのよ、仕送りが。それでドーンと落ちて、屋根裏部屋に入れられちゃって、ネズミが出てきて、食べ物やネズミに分けてあげたりして、清い心を失わないセーラなんですけど、お父さんの遺産を彼女に手渡そうと思って、彼女

うすると今度お金持ちになるでしょ。それでボーンと上がるわけ。という具合で、考えてみればいやらしい話なんですけど（会場笑）。だけど、そのドラマ性、エスカレーターで上ったと思ったら、エレベーターで下りて、バーツ、バーツとなるようなのが、私は大好き（会場笑）。それがなかったら面白くないものね。

あと読んだのはね、『宝島』。杖をついた片足の船長なんてさ、すごいキャラクターだと思わない？ でもあの話、あとで読んでみたらね、そんな面白い話じゃないのよ（会場笑）。でも小さい時は面白くて、船長が怖くて怖くてしょうがなかった。だからやっぱり、子供の頃とさめきっていいのはすごいですね。

あとはね、『アラビアンナイト』。盗賊の話があるでしょ。盗賊がこの家に入ろうと思って印をつけていくんだけど、賢い召使はそれを悟って全部の家に同じ印を付けちゃうって話が、えらく気に入ってね。そういう風に気の回る人じゃないと、お手伝いさんはできないんだと（会場笑）。

それから『クオレ』。その中に、『母を





『ビルマの豎琴 (ともだち文庫 24)』表紙
竹山道雄 著 猪熊弦一郎 絵・装丁 中央公論社 昭和 24 ※<請求記号 見 95-T-1> ※初版は昭和 23 年刊行



『クオレ 愛の学校 (少年文庫 20)』表紙
アミーチス 原作 大木惇夫 訳 春陽堂 昭和 7<請求記号 見乙部 32-O-1>

尋ねて三千里』っていうお話があるのね。主人公マルコは密航したり、甲板掃除したりしてお母さんを尋ねて行って、いろんなことが起きるんだけど、なかなかお母さんに会えない。お母さんは病気でどこかに行ってるからそこを尋ねていくとか、どんどん行って、でも結局は会えるんですよね。

それいいなって私は小さいときに思ったんです。私は母がもう死んでいながら、そこへ行って連れ戻すことはできない。できないんだけど、行った先はどこなんだろう、見えない世界なんだけども、どういふ世界なんだろう、つてすごくそのとき思ったんです。死んだことによる、その向こうの世界への思いというのは、そこですごく広がっていったと思うのね。

ただ、私は、マルコがお母さんに会えてよかったと思うんですよ、この話。会えないで終わっちゃったら、ものすごくつまらない話になっちゃう。それで私は、物語というのはみんなハッピーエンドがいいと思ってるの。悲しい話でも、怖い話でもね、やっぱり終わりは救われ

るっていうのがいなくなって思ってます。

* * *

中学2年生のときに、疎開先から東京に戻ってきて女学校に編入しました。その頃、おじが一冊の本を持ってきてくれたんです。『ビルマの豎琴』という本でした。おじが、「今評判だから、栄子にちょうどいいから買ってきたよ」と言ってくれたんです。それが、私が一生で初めて自分の本を持った、記念すべき本なんです。それまでどれだけ読んでも、戦時中で本が少ないから、お友達の本であったり、家の本であったり、きょうだいの本であって、私の本じゃなかった。それをおじが「栄子のために買ってきたよ」と言ったことが、ものすごい喜びなの。それで私は、その本の匂いとか、柔らかさとかっていうのを覚えているんです。

『ビルマの豎琴』はみなさんご存知だと思いますが、簡単に言えば、合唱をすることによって戦争を生き延びた部隊があつて、日本に全員帰ってくることできたんです。だけどその中に一人だけ、姿を消す兵隊がいたわけ。水島上等



このほかにも、中学生時代に読んだ『二都物語』や、大学生時代に読んだサマーセット・モームのお話をしてくださり、最後は短編小説『ナショナル・ストーリー・プロジェクト』（ポール・オースター編）の一節を朗読してくださいました。



『トンネルの森 1945』表紙
角野栄子 著 大庭賢哉 装画
KADOKAWA 2015.7
<請求記号 Y8-N15-L530 >

兵っていうんです。捕虜収容所に時々彼
は姿を見せる。みんなは、いなくなった
水島上等兵に似てるけど、お坊さんの袈
裟を着ているから違うんじゃないか、っ
て。それで呼んでみたりするわけ、「帰
ろうよ、一緒に」。だけど水島上等兵は、
これだけ人が死んだのだから、と、お坊
さんになって供養するためにこの土地に
残ることにするんですよ。

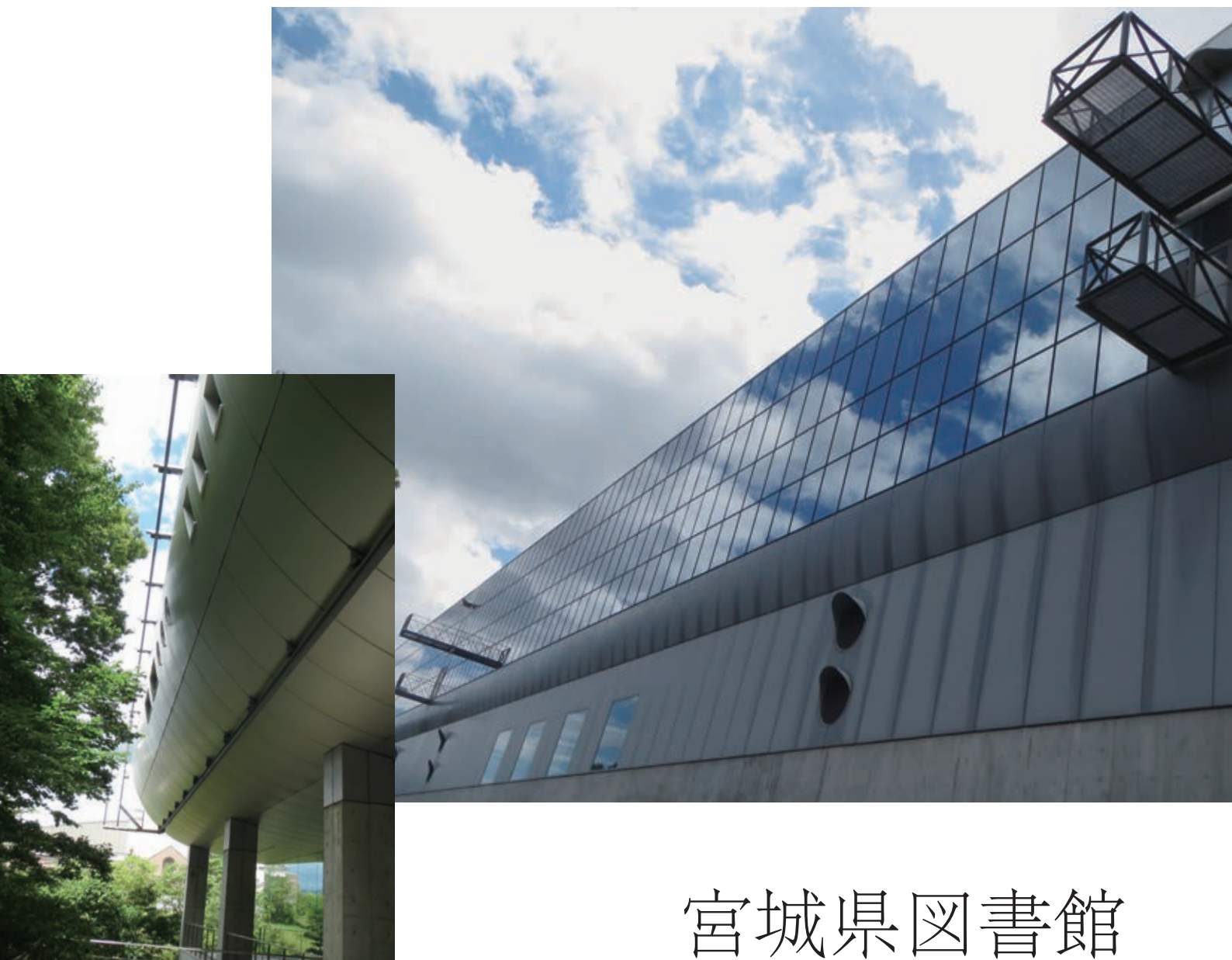
私も読んだとき、これだけ苦労した
んだから、帰らせてあげてもいいのに
なあって、作者の竹山道雄さんに思いま
した(会場笑)。だけど、やっぱりそれじゃ
書いた意味ないですから。そういう風な
意味を物語に与えるのは、私あんまり好
きじゃないんですけど、ズーっと私の中
に、水島上等兵の姿が残っていたんだと
思うんです。だって一人で残るっていう
のはものすごい孤独で、その孤独を耐え
る決意というのは厳しいものだと思うん
ですよ。

全然そのことを忘れて、私は2015
年に『トンネルの森1945』という作
品を書きました。これは戦争中、私が疎
開していたときの話です。幻の脱走兵が

出てきます。脱走兵っていうのは死刑が
無期懲役かなんですよ、捕まったらね。
主人公は、戦時中のピカピカの戦争の子
どもだから、戦争には絶対勝つと思っ
て、許せないわけ、その兵隊のことが。
私たちがこんなに飢えに耐えてるのに、
自分だけ逃げるなんて許せないと思うん
だけど、やっぱり彼女は、彼の心根がだ
んだんわかってくるという。

これを書いたときに、私の中にやっぱ
り『ビルマの豎琴』の兵隊さんの決意
みたいなものが、形は違えどね、つなが
っていました。書いたときはそう思わな
かったですよ。ちょっとその上澄み
たいのがあって、それをつかまえて書
いたんだけど、やっぱりそこにあのとき
の水島上等兵に対する共感、というより
も、なにかわけのわからない理解？と
いうものが、私の中にずっとあったのか
なあって思うの。だから、地下茎でつな
がっているんですよ、みんなね。





宮城県図書館

郷田 亜弥

杜の都・仙台の中心地、仙台駅から12キロほど北に向かうと、銀色の建物が見えてきます。森の中に浮かぶ宇宙船とみまごう長大な建造物、それが宮城県図書館です。

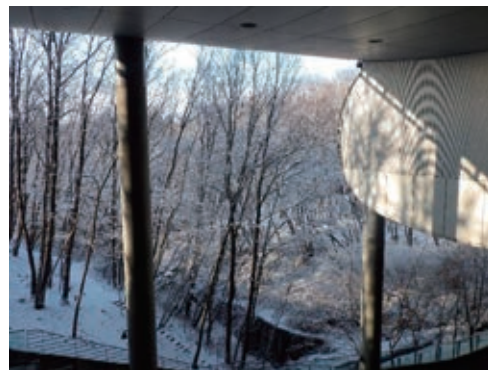
宮城県図書館は明治14（1881）年に宮城書籍館しよじやくかんの名称で開館し、建物や名称を変えながらも絶えることなく今に至っています。今の建物は平成10（1998）年に元々仙台市中心部にあった旧館から現在の地・紫山に移転開館したものです。京都駅ビルや札幌ドームを設計した建築家の原広司氏が設計をしました。南側には「書見の道」と名付けられた遊歩道が、北側には森の中に遊歩道が整備され、まさに自然に囲まれた図書館です。館内からも豊かな自然を見ることができ、四季折々の風景を楽しめます。



地形広場。



(上) 子ども図書室の案内板。
(右の2枚) 館内から見える四季の移ろい。



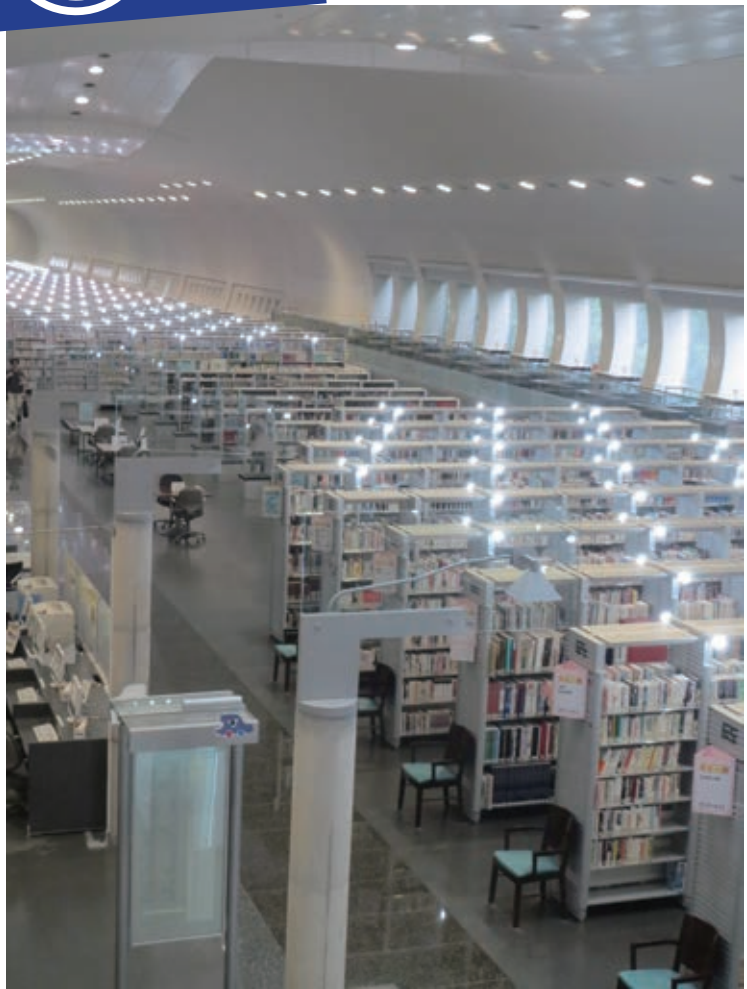
宇宙船のような近未来的なイメージは、建物の外観だけでなく、丸みを帯びた壁や照明、窓などにもそれとなくあらわされています。

地形を活かして建築されたこの建物は、東西に約200メートル、南北に約30メートルという他に類を見ない細長い図書館です。

平成27(2015)年には映画『図書館戦争 THE LAST MISSION』(同年公開)のロケ地として撮影が行われました。作中では戦闘の舞台となった茨城県立水戸図書館として登場しています。長い廊下や階段状の「地形広場」など特色のある建物が効果的に使われました。撮影は蔵書点検休憩中に行われ、本番の合図があるとバーコードをスキャンする音が入らないように手を止める、ということもあつたそうです。図書館だより『ことばのうみ』52号¹⁾では物語にも登場する「図書館の自由に関する宣言」と共に撮影の様子を紹介しています。今でもときおり、「聖地巡礼」の一環として来館するファンの姿が見られます。



(右) 4階から撮影した3階の様子。
この風景は図書館見学ツアーでご覧になれます！
(左上) 国重要文化財の坤輿万国全図。
(左下) 16ミリ映画フィルムと映写機。



さらに、館内には建物の機能の一部として美術作品が随所に使われています。その中でもひととき目をひくのは彩り豊かな案内板アート（前ページ画像）です。子ども図書室の大きな案内板をはじめとして、図書館の各表示には絵本から飛び出したような楽しい絵が描かれています。

蔵書は約118万点（平成31（2019）年3月現在）あり、その中には「伊達文庫」（仙台藩主伊達家の旧蔵書）、「養賢堂文庫」（仙台藩校「養賢堂」の旧蔵書）、国指定重要文化財の「坤輿万国全図」「陸奥国仙台南元禄国絵図関係資料」など貴重な資料も少なくありません。宮城県図書館ホームページ内の「叡智の杜Web」²⁾ではそれら貴重資料の画像や、県内公共図書館で所蔵する郷土関係論文目録などを調べることが出来ます。そのほか、みやぎ最後の紙芝居屋といわれる井上藤吉氏から寄贈を受けた街頭紙芝居のコレクションは、東日本最大の所蔵を誇り、体系的に保存されたものとしては国内有数のものです。その多くが手描きの紙芝

居は、躍動感にあふれ、今でも色あせることのない魅力が放っています。また、1,000点を超える16ミリ映画フィルムも所蔵しており、折々に館内外で上映会を開催しています。フィルムを回す独特の音や、白黒ながらも時代を切り取る懐かしい映像など、今ではなかなか味わうことのできない歴史的にも貴重なものです。

職員数は42人、嘱託や臨時職員も含むと総勢80人になります。国立国会図書館と比べると10分の1ほどの規模ですが、県立図書館レベルで見ると相当な大所帯です。平成30（2018）年度の1日当たりの平均入館者数は約1,200人、貸出冊数は約2,200冊でした。最寄り駅の駅が遠く（バスで20分ほど）、遠方からの利用者には不便な立地ですが、平成29（2017）年から宮城県図書館で借りの資料を県内の市町村図書館で返却出来る制度（市町村図書館等返却サービス）を開始し、平成30（2018）年には1,000件を超える利用がありました。

私は実務研修員として、国立国

1 <http://eichi.library.pref.miyagi.jp/about/publication/kotobanoumi/kotoba-52.html>

2 <http://eichi.library.pref.miyagi.jp/eichi.html>



(右上・右下) ビブリオバトル。子どもから大人まで、誰でも参加することができます。
(左上・左下) 図書館見学ツアー。

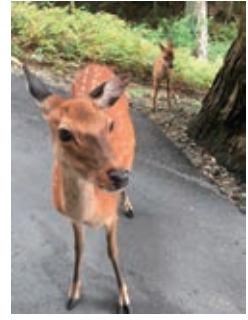
市町村図書館支援の一つに、「協力貸出」があります。宮城県図書館の資料を市町村図書館等に貸出をする事業で、同時に市町村図書館同士の貸し借り（相互貸借と呼んでいます）の支援も行っています。県民の皆さんが県内のどこに住んでいても読みたい資料を取り寄せて使ってもらえたら、と考えています。また、年に2回、市町村図書館等35館に実

際に伺ってお話を聞いたり（巡回相談）、市町村図書館等職員や学校関係者向けの研修会を開催したり、図書館の要望に応じて、職員が研修を行うために赴いたり（出前講座）しています。企画協力はカウンターに立って図書館を利用する方に直接お会いするようなことはありませんが、宮城県図書館や市町村図書館等をもっと知ってもらい、使ってもらえるような体制を構築できるように、職員全員で取り組んでいます。

の市町村図書館支援、図書館システムの管理などを幅広く手がけています。

国立国会図書館在職中はこちらと同様に各図書館への相互貸借を担当していたこともありましたが、あまり相手の図書館の顔は見えませんでした。宮城県図書館では市町村図書館の担当者や直接やり取りをし、実際に会いし、県図書館に集まっていたり、そのようなことの積み重ねで一緒に宮城県の図書館サービスを行っている、ということを実感します。同時に宮城県へのサービス、その次は東北・北海道地方へ、ということを強く意識するようになりました。

3 「本」の意味を表す「biblio」と「戦い」の「battle」を合成した言葉で「知的書評合戦」とも言われる。人にすすみたい本を紹介し合い、どの本が一番読みたくなったかを参加者全員で投票して「チャンプ本」を決める、本の紹介コミュニケーションゲーム。



(右上から) 金華山の野生の鹿／芋煮会／
宮城県の郷土料理はらこ飯／岩出山の梅



雪の日の建物外観。

また、宮城県図書館は一人一人の職員の担う仕事の幅が広い、ということがあります。恐らくこの公共図書館でもそうだと思いますが、国立国会図書館では複数の部署で担当しているような業務を宮城県図書館では一つの班で担当しています。一人の職員が複数の業務を抱えているので、余裕がなく毎日がとても慌ただしく過ぎていきます。一方で、規模が小さいということは、職員の工夫やアイデアを取り入れやすい、動きが速いということでもあり、班内での会話からアイデアが生まれ、業務に生かされるということがよくあります。

さて、宮城県は東北地方に位置しています。仙台市の気候は東京とそれほど大きくは変わりません。ですが、今年の夏の「酷暑」がこちらでは「猛暑」レベル（個人の感想です）であったり、冬に雪の降る回数が多かったりと、北の方に住む幸せを感じています。除雪が必要ないほど雪が降ることは数少ないながら、たまの積雪の際に職員一同で雪かきをすることもありました。雪の予報が出た後、職員用出入口にたくさん雪かきスコップが並んでいたのはとても印象に残っています。

宮城県は東北各地から人が集まる県です。宮城県図書館内にも青森県、岩手県、秋田県など東北各地出身の職員がいます。そのせいなのか、外部から人を受け入れる環境が整っているように感じられ、実際あまり余所者であるという意識を持つことなく過ごせています。職員同士誘い合っ出て出かける機会も多く、宮城県の重要な季節イベント「芋煮会」に行ったり、梅を見たりと、様々な体験をさせてもらいました。宮城県は海鮮や牛タン、ずんだは勿論のこと、はらこ飯やほつき飯、白石温麺など食べ物の中でもとても充実しています。

実務研修員生活も2年目となり、折り返しを過ぎました。このような機会に恵まれたことに感謝しながら、今後も宮城県図書館のみなさんと協力して業務に励み、かけがえない時間を大切に過ごしていきたいと思っています。

ある人が国立国会図書館のインターネットサービスで調べてみた①

身近な疑問、どうしても知りたいこと。
国立国会図書館を使っていろいろ調べてみよう！

「公務員試験を受けようかな」って言ったら、おばあちゃんから、ひいおじいちゃんが内務省に勤めていたことを初めて聞いた。

ん？
内務省って今ないよ。
どんな省なんだろう？
ひいおじいちゃんはどんな仕事をしていたんだろう？
ググってwikiも見たけど、もっといろいろ調べてみよう！

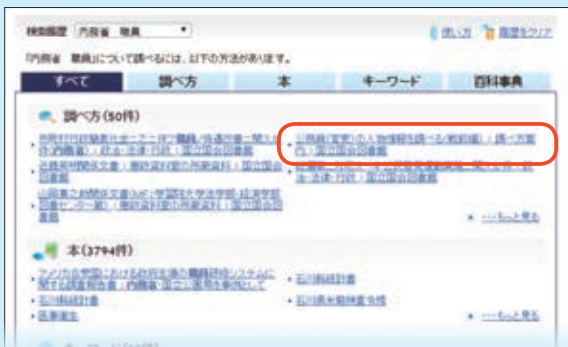
先輩に、調べものに役立つサイトを教わった。

今回の主人公：永田町子
(某テレビ番組に影響されている大学生)



国立国会図書館が作ってる「リサーチ・ナビ」で調べてみようっと。

「内務省」「職員」…と
検索語を入れてみて…
これが役立ちそう？



<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

いろいろな本が紹介されてる～。

ひいおじいちゃんのしてた
仕事わかるかも！

とりあえず事典をクリックしたら「国立国会図書館オンライン」にとんだ。国立国会図書館に行けば見られるんだ。



「公務員（官吏）の人物情報を調べる（戦前編）」



「他のデータベースで探す」
を押してみると「Database
Linker」っていう
画面になった。




Database Linkerで
CiNiiを選べば、大学図
書館の所蔵も調べられる
ニャン！

「国立国会図書館サーチ」
を押してみる。

リサーチ・ナビ
から国立国会図
書館オンラインへ。

リサーチ・ナビ
で検索してみたら
いっぱい結果が出
てきた。

国立国会図
書館サーチで公共図
書館の蔵書を確認。

「国立国会図書館サーチ」って何？
公共図書館でどこが持ってるかがわかるんだ。



行ってみようっと。



あ、近所の図書館に
あるみたい。





明治や大正の写真を集めたページなんだ。早速見てみよう！
https://www.ndl.go.jp/scenery_top/index.html



「大正」「写真」
で検索したら写真
のサイトがヒットし
た。

昔の写真を調べる
方法はないかな。
もしかして、ひいおじいちゃん
が過ごしていた場所が
写っていたりするかも。

ひいおじいちゃんは
大正時代に大阪府の
〇〇市で生まれたって
おばあちゃんから聞いた。
当時の写真、
見てみたいな～。



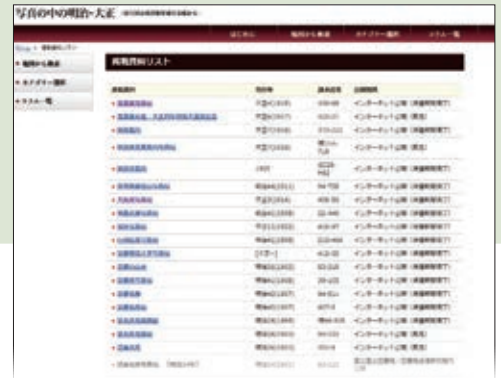


「国立国会図書館デジタルコレクション」で本の画像そのものも見られるんだ。

地図やカテゴリから選べるんだね。



いっぱい写真帳があるんだなあ。



大正時代の〇〇市ってこんな感じだったんだ。今度おばあちゃんと一緒に見てみよう！

国立国会図書館デジタルコレクションにアクセスする。

いろいろな写真を見してみる。



ひいおじいちゃんに少し近づけた気がする！



(絵：根来 南)



ちなみにリサーチ・ナビには、写真を探すためのヒントとして「写真を探す」や「肖像」が載ってるニャ。



「写真を探す (日本)」 トップ>調べ案内>芸術・言語・文学>美術



施設のことなら、 なんなりと

「はい、管理課施設運用係です」と言って、よく電話に出ます。職員からの電話です。「蛍光灯が切れています」「トイレが詰まっています」「閲覧室が暑い（または寒い）」と利用者の方から指摘がありました」という内容が大半を占めます。私の業務の一つは施設の不具合への対応です。

「新館の閲覧室が暑いです」という電話があった場合、まず空調設備の状況が表示されるパソコンを確認し、空調の設定温度や室内の温度・湿度、外気温の推移などから空調の調整を検討します。判断材料の一つとして、温度と湿度から蒸し暑さを算出する不快指数を用いており、「暑くない」とされる数値の75以下を目標に空調の設定を変更します。例えば、温度が26℃と低めでも、湿度が72%以上になると不快指数は75を超えます。

そのようにしてみなさんの「快適」を探しているのですが……、省エネルギーのことも考えながら空調の調整を行っております。法令でエネルギー使用量の継続的削減が定められており、「暑い！冷房の設定温度をガンガン下げよう！」というわけにもいきません。快適と省エネルギーの狭間で日々悶々としています。今年の空調はいかがでしょうか。

「はい、国立国会図書館管理課です」と言って、電話に出ることもあります。工事業者からの電話です。「工事の打ち合わせはいつにしましょう」「工事内容の確認をしたいのですが」という内容が大半を占めます。私のもう一つの業務は建築設備に関する工事の計画・管理です。

現在、新館2階の雑誌カウンター内の書籍搬送機の改修工事を担当しています。書籍搬送機とは、書庫と雑誌カウンターをつなぎ、資料を運んでいく機械のことで、大きささまざまな部品が1年から20年間隔で更新時期を迎えます。今回の工事は、更新に合わせて搬送経路のルート変更を行い、資料をカウンターにより効率的に届けたい、というのが主な目的です。年末から年初に工事を行い、来年1月中旬の運用開始を予定しています。限られた期間で滞りなく工事を行うために、1年以上前から工事業者や関係部署との調整を重ねています。この工事でカウンター内の作業がスムーズになり、利用者のみなさんの手元にいち早く資料が届いたらうれしいです。

管理課は、みなさんの見えないところから国立国会図書館を支えています。

(管理課施設運用係 くつした)

世界図書館紀行



タンザニアの図書館

宇野 亮一

はじめに

みなさんは、タンザニアという国をご存知でしょうか。東アフリカにあり、大陸側のタンガニーカと島嶼部のザンジバルからなる連合共和国です。1961年にタンガニーカがイギリスから独立し、64年にザンジバルと連合してタンザニアとなりました。キリマンジャロ山やセレンゲティ国立公園、ンゴロンゴロ保全地域、ウングジャ島（ザンジバル）の旧市街ストーンタウンといった自然・文化世界遺産について、聞いたことがある方もおられるかもしれません。人口は5700万人ほどです。多くのアフリカの国々は英語やフランス語を公用語としていますが、タンザニアは現地の言葉であるスワヒリ語を国語として重視しています。タンザニアには約130の民族が存在しますが、初等教育をスワヒリ語で行うことにより、ほぼ全ての人がスワヒリ語で会話ができます。ユネスコによると2015年時点で15歳以上の識字率は78%であり、サハラ砂漠以南アフリカ諸国の平均である64%をかなり上回っています。筆者は、国立国会図書館に就職する以前の2008年から2010年まで、タンザニアの司書学校（後述

1 英語は公用語であり、中等教育以上は英語で行うとされています。



国立中央図書館外観。一般企業の看板が掲げられている。下は国立国会図書館東京本館。



目録作成作業をしている事務室。



国立中央図書館に届いた援助本（同じもの【教科書】が多数）。

で青年海外協力隊員として活動して
いました。司書学校や国立図書館を
運営するのは、T L S B（次項）と
いう組織です。今回の「世界図書館
紀行」では、筆者の経験に基づき、
日本とは大きく異なるタンザニアの
図書館事情や、司書学校での活動に
ついて紹介します。

タンザニアの図書館の制度

タンガニーカ（大陸側）の図書館
を運営しているのは、教育・職業訓
練省の下部組織である T L S B (Bodi
ya Huduma za Maktaba Tanzania
/ Tanzania Library Services Board
訳すと図書館サービス委員会) で
す。なお、タンザニアは連合共和国
なので、ザンジバル（島嶼部）には
ザンジバルの教育・職業訓練省があ
り、下部組織として Z L S B があり
ます。筆者は T L S B の一部署であ
る司書学校で活動していたため、以
下に述べることは主に T L S B に関
するものです。

日本や欧米とは異なり、T L S B
が運営するのはいわゆる「国立図書
館」としてイメージされる大きな図
書館1館だけではありません。タン
ガニーカの各地方にある図書館も
「州立」「県立」図書館ではなく、T
L S B が直接運営している「国立」

図書館なのです。国立国会図書館が
東京と関西館がある京都だけでな
く、北海道館、青森館……と47都道
府県にあるようなイメージでしょ
うか。逆に言うと、地方自治体が運
営する図書館はありません。

2016年のタンガニーカ（大陸
部）で、州図書館21館、県図書館18
館、郡図書館1館があるそうです（ザ
ンジバル（島嶼部）は Z L S B が運
営する図書館がウングジャ島・ベン
バ島それぞれ1館）。日本の公共図
書館が約3千300館であることと
比較すると、図書館へのアクセスの
しやすさにはまだまだ改善の余地が
あると言えます。職員数は全国で約
400人とされ、国立国会図書館（令
和元年度定員891人）の半分弱で
すが、図書館を運営するだけでな
く、後述する納本制度や全国書誌の
作成、司書学校での教育活動なども
行っていることを考えると、手薄に
なってくる部門も出てきてしまうの
かもしれません。

T L S B 法に基づき、タンガニー
カの出版者は、出版した資料2部の
納本を義務付けられています。納本
制度や、外国からの援助によって、
T L S B 全体で100万点の資料が
あるとされます。やや古い情報です
が、2008年の論文によれば、図

国立中央図書館の閲覧室。



国立中央図書館の前で TLSB のメンバーたちと。左から 2 番目に映っているのは当時の TLSB 長アリ・ムチャラジさん。



開架資料。



子どもの部屋。

書が約1万4千件(約2万8千点)、雑誌が734タイトル(約16万点)だそうです。全体の100万点のうちおよそ20万点が国内で出版され納本された資料、残りは外国から送られてきた援助本ということでしょうか。納本された資料をもとに、TLSBは全国書誌の編纂やISSN、ISSNの発行も行っています。タンザニアではスワヒリ語を重視していますから、自然に考えれば人々が読みたいのもスワヒリ語で書かれた本だと予想されます。あるいは英語の本であっても、現地の事情に沿った国内発行の本のほうが親しみをもちやすいでしょう。しかし、納本制度で収集できる2部ではタンザニア各地にある「国立」図書館すべてには到底行きわたらず、購入して補おうにも、残念ながら予算は乏しい状況です。そのためニュースや新聞、憲法をはじめとする法律などもスワヒリ語で書かれているにもかかわらず、図書館にある多くの資料は援助で外国から送られてきた英語の本であるという状況がみられます。また、広い国土(日本の約2.5倍)に図書館は2018年現在数十館のみということもあり、農村などの人が図書館にアクセスするのは困難です。さらなる図書館の普及

には、地方自治体自身が図書館を設立することが必要になってくるのかもしれない。

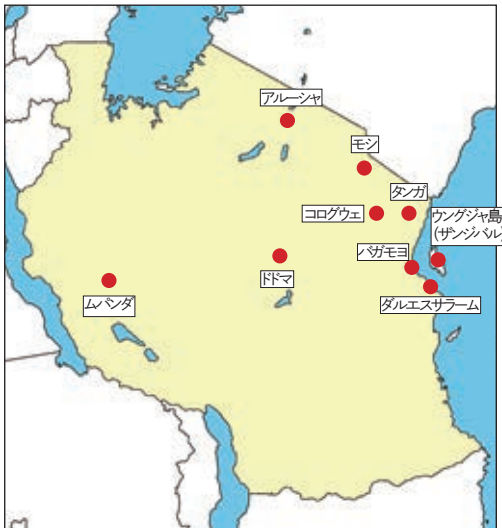
国立中央図書館

タンザニアの行政・経済の中心都市ダルエスサラーム²⁾には、国立図書館の中央館である国立中央図書館(Maktaba Kuu ya Taifa / National Central Library)があります。建物の外見はどことなく当館の東京本館に似ているでしょうか(右ページ上)。東京本館には広告の看板はありませんが……。

TLSBによって運営される各地の国立図書館は、中央図書館もそれ以外も利用条件は同一です。つまり、中央図書館も開架式、資料の館外貸出を行うなど、日本の国会図書館よりも公共図書館に近いイメージの部分があります。ダルエスサラームは、海沿いにある都市で湿度が高いのですが、予算の問題から空調は未整備で、窓を開けたりシーリングファン(天井に設置された扇風機)に頼ったりしており、資料保存上は少々心配になるところです。

中央というだけあって、TLSBとしての機能はこの中央図書館が果たしています。納本されてきた資料や外国から援助で送られてきた資料

2 国会議事堂がある法律上の首都はタンザニア中央部のドドマという都市ですが、行政機関や各国大使館等はダルエスサラームに置かれています。



ドマの図書館。法律上の首都であり、施設も立派。



ムバンダ（カタヴィ州）の図書館。職員は1人しか見当たらなかったが、来ている若者は熱心に本を読んでいた。



は、ここに集められ、書誌事項を採録されたり各図書館に割り振られたりしています。

日本との大きな違いは、利用には年間登録費という形でお金がかかるということ。2018年現在では1万タンザニアシリング³で、日本円に換算すれば500円程度ですが、現地の貨幣価値からすると感覚的には5千〜1万円に相当し、小さい金額ではありません。予算が乏しい中で図書館運営のための収入が必要であるという意義や、年間登録料を払えば、自分で新聞を買わずに毎日閲覧できるだけでも元が取れるぐらいの金額だという主張はあるそうです。しかし、全ての人が図書館を利用できることが望ましいことからすれば悩ましいところです。登録者数は中央・地方図書館を合わせて年間約63万8千人、来館者数は延べ130万人とのことです⁴（日本の公共図書館の年間来館者数は3億人以上）。

ただ、土曜日は子どもたちに無料で開放されており、多くの子どもたちでにぎわっています。もちろん、人気があるのはスワヒリ語の本です。筆者も司書学校で児童サービス的重要性を説明したり、地方の図書館を回って読み聞かせを上演したり

司書たちに行ってもらったりしました。スワヒリ語での読み聞かせを喜ぶ子どもたちの姿を見て、司書たちに児童サービスのやりがいや重要性を感じてもらえればと思いました。後述のように筆者の配属先であった司書学校は別の町にありますが、TLSBへの提言を行う際などに中央図書館を訪問し、館内を見学することができました。

地方の図書館

タンザニアの各地にも、上記のとおりTLSBが運営する「国立」図書館があります。設備の充実度などには格差もあり、国会議事堂がある法律上の首都ドマ、歴史ある港町のタンガなどの図書館は広く、複数名の職員が勤務していましたが、内陸部などではまるで小屋のような建物に「館長」が一人座っていたところもありました。また、タンガニカ全体で数十館では、図書館のある町に住んでいる人はともかく、地方に住んでいる人はアクセスが困難でしょう。

運営母体が同一ですから、年間登録費が必要であること、土曜日は子どもたちが無料で利用できることは、ダルエスサラームの中央図書館と同様です。絵本などを読むほか、

3 初等教育や中等教育の児童生徒の場合には半額程度ですが、やはり無料ではありません。

4 元 TLSB 長アリ・ムチャラゾさんへのメールインタビューによる（2019年6月）。



モシ（キリマンジャロ州）の図書館。
左の写真の奥に見えるのがキリマンジャロ山。



バガモヨの市場。野菜、果物、海産物が豊富。



ザンジバル名物のウロジョ（酸味のあるスープに好みの具材を入れたもの）。対岸のバガモヨでも食べられている。



アルーシャの図書館。子どもの部屋。
土曜日なので子どもたちでにぎわっている。

学校図書室

学校教育において教科書が自己負担ゆえに児童生徒ひとりひとりに行きわたらず、学習のための資料を読みに来る子どもたちも多くいるようです。

一方、タンザニア（タンガニカ）ではスワヒリ語で行われる7年間の初等教育が義務教育であり、各村に小学校が設置されており、そうした小学校の施設として図書室があることもあります。2016年の統計によると図書室のある小学校はいまだ12%に過ぎず、教科書や机なども含め基本的な備品が乏しいことが課題となっていますが、逆に言えばここを改善することで子どもたちの読書環境を大きく向上させることができるのではないのでしょうか。実際に、司書学校に来る学生たちのかなりの割合は、図書室を運営する方法を学びに来る教員で占められています。

そこで、司書学校で児童サービスを教えるだけでなく、学校を運営する地方自治体（図書館と違い、小学校は地方自治体が運営しています）にJICAから隊員を派遣し図書室の整備を実現できないかと、当時、JICAタンザニア事務所と協力し



移動図書館の車。4WD は山道を行くため。



バガモヨの小学校の図書室。

路上でバオというボードゲームに参加。



「本の病院」と書いてある。補修待ちの資料たち。

これまで述べてきたような公的な図書館とは異なりますが、現地の NGO と日本の人々が協力して、タンザニア北部のコログウェという地域で移動図書館車を走らせているという事例もあります。筆者も事業開始当時、個人的に手伝い、日本の中学生が絵を描いた紙芝居のスワヒリ語訳や、貸出方法の改善（名前が残ってしまうノートへの記載から、貸出時のみ利用者カードと図書カードを結び付けるため利用の秘密が守られる「ブラウン式」に変更）などを行いました。山深い地域なので都市の図書館や本屋に行くことは簡単では

移動図書館車

てバガモヨ県庁に対し働きかけたこともありました。図書室の重要性を説明したり、読み聞かせの実演を行ったりしました。その甲斐があつてかどうかは分かりませんが、筆者の帰国後に JICA から県庁に隊員が配属され、学校図書室の整備がなされました。

国立図書館が各地に設置されているといつても数が少ないので、むしろ村に必ずある小学校に図書室があれば、そしてそれを地域住民にも開放することができれば、よりよいかもしれません。

肌で感じました。洋書は数万タンザニアシリング、現地の本やさらにその古本でも数千〜数万タンザニアシリングで売られていますから、多くの本を多くの人を読めるようにするために図書館の存在が重要です。他のアフリカ諸国と比べて国語が広く理解されており、スワヒリ語で書ける国内どこにでも意見を伝えられるのですから、出版のポテンシャルは高いはずですが、教育や楽しみのために、タンザニアの図書館がさらに大きな役割を果たす日が来ることを期待したいと思います。

まとめ

ありませんから、移動図書館車が村までやってくると、多くの子どもたちが喜んで集まってきます。子どもたちのためには、公的な図書館も大切ですが、こういう草の根の活動もまた大切だと感じました。

これまで見てきたように、タンザニアでは、すべての人が図書館を使えるとは言い難い状態です。しかし、無料開放される土曜日には多くの子どもたちが図書館に来ていたように、図書館へのニーズは高いと思われれます。筆者が自作したスワヒリ語の紙芝居を持って各地を回るとどこでも大人気で、おはなしへの熱望を

司書学校 (SLADS)

タンザニア司書学校 (Chuo cha Ukutubi na Uhifadhi Nyaraka / School of Library, Archives and Documentation Studies : SLADS)は、ダルエスサラームから北に70kmほど離れた、バガモヨという町にあります。バガモヨは歴史ある町で、海岸沿いにはストーンタウン風の家も見られますが、学校は中心部から数キロ離れたウクニ村にあります。

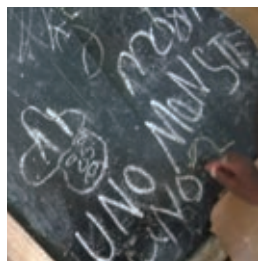
中等学校のAレベル(日本の高校程度)卒の学生たちが2年間学ぶディプロマコース、中等学校のOレベル(日本の中学程度)卒の学生たちが1年間学ぶサティフィケートコースがあり、ディプロマが1学年100名程度、サティフィケートは200名程度在席していたので、全体では400名程度の学生がいました。仕事を始めてからキャリアアップのために戻ってくる学生も多いので、20代から40代、50代まで年齢はさまざまです。進路は国立(中央・州)図書館のほか学校図書室、企業の資料室などだそうです。

筆者が青年海外協力隊員として派遣されることになったタンザニアからの要請理由は、カード式である目録を電子化することを検討しているため、ICT(情報通信技術)の講義を学生に行うというものでした。当時は司書学校でもコンピュータでの蔵書管理はなされていなかったため、目録作成や利用者登録、貸出返却の処理などが行えるフリーソフトを使って実習を行ったり、同じソフトを学校の図書室に導入して蔵書と利用者(学生)を登録し、検索や貸出が行えるようにしたりといった活動を行いました。現在は中央図書館にはシステムが導入されているようです。

ICTのほか、国立中央図書館のところで触れたように、全校学生を前に児童サービスの重要性を説明したり、州図書館を回って現役の司書たちに教育をしたりもしました。国立国会図書館のサイトである、図書館界の最新ニュースを発信する「カレントアウェアネス」から、オバマ米大統領(当時)がホワイトハウスで絵本の読み聞かせを行ったトピックや、米国CNNが選ぶ2008年のトップヒーローにエチオピアでロバの移動図書館を開始した司書がノミネートされたトピックを引用し、学生のやる気を高めようとしたこともありました。当時は国立国会図書館に就職するとは思っていませんでしたが、帰国後、採用試験を受験し採用され、働いている今にして思えば奇遇です。



家の前で子育てしていた猫。



休みの日に通っていた孤児院で、子どもたちが筆者を描いた絵。

○参考文献

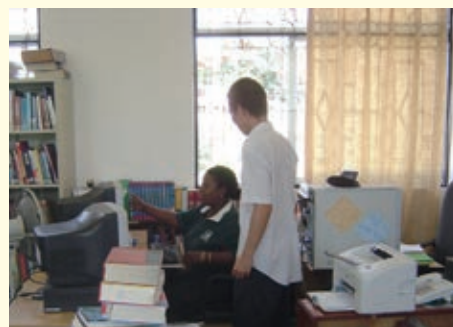
ZLSB act
<http://dppznz.go.tz/uploads/ACT%20NO.7%20THE%20LIBRARY%20SERVICE%20BOARD.pdf>

Fifty years of Tanzania's national/public library service, Alli AS Mcharazo, Anthony Olden
<https://journals.sagepub.com/doi/abs/10.1177/0955749016649107?journalCode=alaa>

Serving the bibliographic needs of scholars in Tanzania: a case study of the Tanzania Library Services Board, Alli Mcharazo
<https://doi.org/10.3366/abib.2007.2>

TLSB ホームページ (現在は閲覧できないので、インターネットアーカイブを参照した)
https://web.archive.org/web/20180927170154/http://www.tlsb.or.tz/index.php/tlsb/tlsb_services/

司書学校で、データ入力の指導。



学生全体に講義。



紙芝居を上演。

独立行政法人国際協力機構 (JICA) ホームページ
<https://www.jica.go.jp/tanzania/office/information/event/140911.html>

National Basic Education Statistics in Tanzania (BEST) 2012 - 2016
 National Data <http://www.moe.go.tz/index.php/en/publications/send/30-statistics-takwimu/307-best-2016-national-data>

千葉県柏市ホームページ
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/400100/p010416.html>

「タンザニアで命の授業 若年妊娠、中絶死リスク減らせ 移動図書館で都内の女性ら」『東京新聞』2017年1月1日

※最終アクセス：2019年7月5日

本屋に

ない

本



盲導犬と歩く Walking with guide dogs 日本盲導犬協会50周年記念誌

日本盲導犬協会50周年記念誌編纂室 編
日本盲導犬協会
2017.10 223p 30cm
<請求記号 E4-L365>

別冊：ユーザーは語る

日本盲導犬協会50周年記念誌編纂室 編
日本盲導犬協会
2017.10 129p 30cm
<請求記号 E4-L364>

「犬は紳士だ。私は彼らの天国に行きたい、人間ではなく」*。かつて、

アメリカの作家マーク・トウエインはこう記した。今回紹介する『盲導犬と歩く』は、紳士な犬の中でも最も紳士な(?)、盲導犬について深く知ることのできる本である。

本書は、日本に11ある盲導犬育成を目的とする団体の一つ、「日本盲導犬協会」(以下「協会」)の50年の歩みをまとめた記念誌である。盲導犬と視覚障害者を取り巻く環境の変化や、協会が行ってきた様々な取組、盲導犬に関するデータなどが収録されている。単に協会の50年を追うだけでなく、盲導犬育成事業の全体像や現状、課題などについて理解を深めることができる構

成となっている。

第1章は、グラフや写真を多用し、盲導犬だけでなく、訓練士や盲導犬ユーザーの歴史や現状などを説明し、盲導犬がユーザーに出会うまでを次のように紹介している。盲導犬候補として生まれた子犬は、生後2か月からボランティアであるパピーウォーカーの家で育てられる。1歳になると協会の施設に戻り、訓練が始まる。そして、協会での3回にわたるテストに合格した犬だけが盲導犬となる。盲導犬候補の子犬のうち、実際に盲導犬となるのは全体の3〜4割程度といわれている。1頭でも多くの盲導犬を世に送り出すため、繁殖の科学的なアプローチや、訓練情報のデータベース化などに取り

組む様子が記載されている。

第3章では、協会の様々な取組が紹介されている。かつて、盲導犬の訓練は、犬を「服従」させることが重要であると考えられていた。しかし、現在では、犬の適性を考えた訓練理論に基づき、犬が自発的に選択できるよう「教育」の観点重視するあり方へと変わっている。

また、「島根あさひ訓練センター」では、受刑者が盲導犬候補の子犬を育てる日本初の試みが行われている。このプロジェクトは、①受刑者の社会復帰・再犯防止への貢献、②地域社会への貢献、③盲導犬育成事業への貢献と3つの使命を持ち、これまで12頭が盲導犬となり巣立っていった。本書の別冊『ユーザーは語る』では、

盲導犬ユーザー238人のメッセージが収められている。盲導犬との日常や、ユーザーが盲導犬とともにヨット操縦や海外旅行、ひとりカラオケなどに挑戦する様子が記されている。あるユーザーはこう話す。「歩行を助けてくれるだけではなく、人生そのものを輝きあるカラフルなものにしてくれる——それが盲導犬と暮らすということ」。

盲導犬が、視覚障害者にどれだけの希望を与え、それを支えるために協会がどのような活動を行ってきたか。視覚障害者と盲導犬が「2人6脚」で一歩一歩進んできた道のりを感じられる資料である。

(参議院法制局(令和元年7月から出向中) 倉谷(麻耶))

* Oxford Essential Quotations (5 ed.) Edited by Susan Rancitfe 2017
(Oxford Reference 最終アクセス:2016年9月25日) 日本語訳は筆者

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。

国際子ども図書館展示会 「絵本に見るアートの100年—ダダから ニユー・ペインティングまで」

国際子ども図書館では、令和元年10月1日（火）から令和2年1月19日（日）まで、展示会「絵本に見るアートの100年—ダダからニユー・ペインティングまで」を開催します。

近年、絵本に対して、その視覚表現性に注目し、美術作品の一つとして探究する動きが見られるようになってきました。その流れを受け、主に20世紀における革新と創造に焦点を当て、美術の観点から国内外の絵本を紹介します。

この展示会では、20世紀初頭に起こったダダやシュルレアリスムに始まり、第二次世界大戦を経て現代に至るまでの芸術思潮と絵本の関わりを取り上げます。

○開催期間

前期：令和元年10月1日（火）～令和元年11月17日（日）
後期：令和元年11月19日（火）～令和2年1月19日（日）

※月曜日、国民の祝日・休日、年末年始（12月27日～1月6日）、毎月第3水曜日（資料整理休館日）は休館

○開館時間

9時30分～17時



展示会「絵本に見るアートの100年」ちらし

△関連行事のご案内▽講演会「美術と絵本—冒険と革新」

うらわ美術館学芸員の山田志麻子氏を講師にお迎えし、ご講演いただきます。

○日時 11月9日（土）14時～16時

○会場 国際子ども図書館アーチ棟1階研修室1

○対象 中学生以上

○定員 100名

○申込方法 はがきまたはインターネットのいずれかの方法でお申し込みください。詳細については、台東区「たじゅく文化マルシェ」(<https://www.culturecity.taitoh.jp/ja>) ページをご覧ください。

○締切 10月25日（金）必着

○問合せ先 国際子ども図書館資料情報課展示係
電話 03（3827）2053（代表）

科学技術に関する調査プロジェクト2019 シンポジウム—「科学技術立国」を支えるこ れからの研究者育成—

21世紀に入り、科学技術イノベーションへの関心が急速に高まっています。ところが、それとは裏腹に、いわゆる「ポストドク問題」、博士課程への進学率低下、発表論文数の減少などに象徴されるように、「科学技術立国」の足元が揺らいでいるかのような状況が生まれています。この原因を解明し、「科学技術立国」を確立する上での課題を探るためには、「研究」を取り巻く社会・文化的背景までも含めて総合的に考察する必要があります。

こうした点を踏まえ、シンポジウムでは、可能な限り幅広い視点から「科学技術立国」を支えるこれからの研究者育成」について考えます。

○日時 令和元年9月10日（火）14時～16時30分

○会場 東京本館新館講堂

○定員 200名（事前申込制・先着順）

○プログラム

〔開催趣旨の説明と問題提起〕

石渡裕子（国立国会図書館専門調査員、文教科学技術調査室主任）

〔報告〕

天野絵里子氏（京都大学学術研究支援室リサーチ・アドミニストレーター）「研究者の視点に立つて—京都大学学術研究支援室（KURA）におけるURAの取組—」

榎木英介氏（医師、一般社団法人科学・政策と社会研究室代表）「地へたからみた若手研究者問題—四半世紀—何が変わり、何が変わらないのか—」

隠岐さや香氏（名古屋大学大学院経済学研究科教授、「イノベーション」政策と学術の関係—歴史的視点から—」

林隆之氏（政策研究大学院大学教授）「研究者養成問題の背景・構造」

〔パネルディスカッション〕

ファシリテーター 綾部広則氏（早稲田大学理工学術院教授・国立国会図書館客員調査員）

○参加費 無料

○申込方法 ホームページ「イベント・展示会情報」から9月6日（金）17時までにお申し込みください。定員に達した時点で受付を終了します。

○問合せ先 調査及び立法考査局調査企画課（科学技術に関する調査プロジェクトシンポジウム担当）
電子メール ntsrproject@ndi.go.jp

令和元年度国際政策セミナー「雇用と賃金を考える・労働市場とEBPM（証拠に基づく政策形成）」

格差や貧困が各国で問題となる中で、我が国でもその対策の一つとして、最低賃金の引上げが注目されています。経済学界では、最低賃金の引上げの雇用（失業）への影響について、長年にわたり議論されてきました。議論においては、統計データを用いて政策効果の測定や評価を行うこと、すなわち、「証拠に基づく政策形成（EBPM）」が求められます。

国立国会図書館では、東京大学大学院経済学研究科附属政策評価研究教育センターとの共同により、米国の著名な労働経済学者であるデイヴィッド・ニューマーク氏をお招きして、最低賃金の雇用や所得、そして広範な分野への影響をテーマとする国際政策セミナーを開催します。また、日本の専門家を交えたパネルディスカッションでは、EBPMの観点を含めて、労働市場や労働政策の今後について議論します。

- 日時 11月15日（金）14時～17時
- 会場 東京本館新館講堂
- 定員 300名
- プログラム（日英同時通訳付き）
- 〔基調講演〕
- デイヴィッド・ニューマーク氏（カリフォルニア大学アーバイン校教授）
- 〔パネルディスカッション〕
- ・コーディネーター
- 岩本康志（国立国会図書館専門調査員、経済産業調査室主任）

・報告者、討論者

- 川口大司氏（東京大学大学院経済学研究科教授、東京大学大学院経済学研究科附属政策評価研究教育センター（CEPE）長）
- 大石亜希子氏（千葉大学大学院社会科学研究院教授）
- 参加費 無料
- 申込方法 ホームページ「イベント・展示会情報」から11月13日（水）までにお申し込みください。定員に達した時点で受付を終了します。
- 問合せ先 調査及び立法参考局調査企画課 連携協力室
- 電子メール nl-ipseninar@ndl.go.jp

第21回図書館総合展に参加します

11月12日（火）から11月14日（木）にパシフィコ横浜で開催される「第21回図書館総合展」に、国立国会図書館も参加します。

展示ブースでは、国立国会図書館の様々なサービスをご紹介します。また、期間中に次のフォーラム（講演会）を開催します。ぜひご来場ください。

フォーラム「書籍等分野・図書館領域のつなぎ役としての国立国会図書館サーチ（仮）」

- 日時 11月12日（火）15時30分～17時
- 会場 パシフィコ横浜アネックスホール
- 定員 200名
- 講師 調整中
- 申込方法 9月下旬から国立国会図書館ホームページにて先着順で受け付けます。ホームページの「イベント・展示会」情報をご覧ください。

- 問合せ先 総務部総務課 広報係
- 電話 03（3581）2331（代表）

第21回図書館総合展（主催・図書館総合展運営委員会）

- 期間 11月12日（火）～11月14日（木）10時～18時
- 会場 パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい1-1-1）



今年もレファンレンス協同データベースのマスコット「れはっち」が登場します。



昨年度の展示ブース

NDL Topics

平成30年度利用者アンケートの結果を公表しました

国立国会図書館では、提供する各種のサービスを改善するために、アンケートを実施しています。

平成30年度は、国立国会図書館のサービスを利用されている方々に対する一般利用者アンケート及び国内の図書館等に対する図書館・関係機関へのアンケートを実施しました。アンケートの調査対象、実施期間等は表のとおりです。

アンケート結果の詳細はホームページで公表しています。ご協力くださった皆様に厚くお礼申し上げます。

○アンケートページ

http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/enquete/enquete2018_01.html

国立国会図書館ホームページ▽国立国会図書館について▽

利用者アンケート▽平成30年度利用者アンケート結果

○問合せ先 総務部企画課評価係

電子メール hyoka@ndl.go.jp

(アンケートの概要)

種別	一般利用者アンケート	図書館・関係機関へのアンケート
調査対象	利用者(個人)	国内図書館・関係機関
実施期間	4/2～3/31	7/2～9/30
有効回答数	4,592	1,589
送付数(館)	—	2,600
回収率(%)	—	61

令和元年度アジア情報研修

アジア情報の収集・提供に関するスキル向上を図るとともに、アジア情報関係機関間の連携を深めることを目的として、令和元年度アジア情報研修を行います。昨年度に引き続き、日本貿易振興機構(ジエトロ)アジア経済研究所と共催で実施します。

○日時 令和元年12月12日(木)～13日(金)

○会場 日本貿易振興機構アジア経済研究所(千葉市美浜区若葉3-2-2)

○対象 各種図書館、調査・研究・教育機関、中央省庁、地方公共団体等に属する方、大学院生等。

*中国語の入力・読解ができない方も受講していただけます。

○定員 20名程度(原則、1機関につき1名。応募多数の場合は調整します。)

○テーマ 中国の法令・政府情報と統計を調べる

○内容(予定)

12月12日(木) 13時30分～17時30分

科目①「中国の法令・政府情報を調べる」(関西館アジア情報課)

講演「中国情報の入手方法」(アジア経済研究所)

*終了後、情報交換会(会費制、希望者のみ)を予定いたします。

12月13日(金) 9時30分～12時20分

科目②「中国の統計を調べる」(アジア経済研究所図書館)

*終了後、希望者を対象にアジア経済研究所図書館の見学を予定しています。

*「科目①」及び「科目②」は、グループワークによる実習を中心に行います。

*受講者の方には、事前課題にご回答いただきます。

○参加費 無料。ただし旅費・滞在費等は受講者にご負担いただきます。

○申込方法 電子メールまたはFAXでお申し込みください。タイトル・件名欄に「アジア情報研修申込み」と記載し、本文に次の事項を記載してください。①氏名(ふりがな)、

②所属機関・所在地(都道府県)、③所属部署・職名、④電子メールアドレス(またはFAX番号)、⑤情報交換会参加の有無、⑥アジア経済研究所図書館の見学参加の有無、⑦中国語の知識の有無

*申込受付後にお送りする確認メールが届かない場合は、左記までお電話ください。

○申込期限 令和元年9月30日(月)。定員を超えた時点で受付を終了する場合があります。

*参加の可否は、令和元年10月2日(水)までにお知らせします。

○申込み・問合せ先 関西館アジア情報課

電子メール tk-asia@ndl.go.jp

FAX 0774(94)9115

電話 0774(98)1371



#14 東京本館 新館の階段

資料のデジタル化に伴う原資料の利用休止について

国立国会図書館では、所蔵資料の保存と利用の両立を図るためデジタル化による媒体変換を行い、作業が終了した後は、原資料に代えてデジタル化資料を提供しています。このデジタル化作業のため、次のとおり一部の資料の利用を休止します。

- ① 令和元年7月17日～令和2年3月末日（予定）
 - ・ 関西館所蔵の国内博士論文 約9,400件
 - ② 令和元年8月1日～令和2年3月末日（予定）
 - ・ 東京本館所蔵の和雑誌及び国内刊行洋雑誌 94タイトル 約1,250冊
 - ・ 関西館所蔵の国内刊行洋雑誌 4タイトル 約90冊
 - ③ 令和元年9月10日～令和2年3月末日（予定）
 - ・ 東京本館所蔵のソノシート（請求記号がYMH（フィルムレコードその他）で始まるもの）の一部、NDC及びNDDL C分類でソノシートが付属するもの（の一部） 約220件
 - ・ 国際子ども図書館所蔵のソノシート（NDDL C分類でソノシートが付属するもの）の一部 約100件
- ※ご利用いただけない資料は、国立国会図書館オンラインの書誌詳細画面の所蔵一覧上に、「作業中」の表示でお知らせしています。ご利用にあたっては、事前に検索してご確認ください。
- ※タイトル等の一覧など、詳細については、国立国会図書館ホームページの資料の保存・資料デジタル化についてデジタル化作業に伴う原資料の利用休止について掲載しています。

ご不便をおかけしますが、国民の文化的資産を後世に伝えるため、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年度国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定都市図書館長との懇談会

6月27日、国立国会図書館東京本館において標記懇談会が開催されました。この懇談会は、国立国会図書館と公共図書館との協力の推進を図ることを目的として開催され、今年で55回目となります。今回は、都道府県立及び政令指定都市図書館69館から83名が参加しました。

初めに、中野理美文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長が、図書館行政の動向について報告を行いました。続いて、今年度の懇談会のテーマ「災害に備えて、図書館ができること」の下、当館から佐藤毅彦電子情報部長が、国立国会図書館における防災対策及び東日本大震災に対する対外的取組等について報告しました。

次に、公共図書館6館から報告がありました。蜂谷洋宮城県図書館長からは、東日本大震災による被災状況と復興への取組や「東日本大震災アーカイブ宮城」の概要等について、杉浦孝幸福島県立図書館長からは、「東日本大震災福島復興ライブラリー」として収集した資料の出張展示や市町村への直接的な支援の事例等について、別所志津子三重県立図書館長からは、40館以上の県内図書館等と連携して実施している防災・減災に関するキャンペーン等について、豊田祐一熊本県立図書館長からは、平成28年熊本地震による被災状況と復旧への取組等について、浅山信乃札幌市中央図書館利用サービス課長からは、平成30年北海道胆振東部地震による被災状況と地震に伴う停電への対応等について、阪本和子神戸市立中央図書館利用サービス課長

からは、阪神・淡路大震災の発災当初の取組や震災を伝える取組等について報告されました。

また、懇談会の後半では8つのグループに分かれ、防災・減災に対する取組についての事前アンケート調査等に基づき懇談を行い、活発な意見交換がなされました。

懇談会の前には東京本館の見学会を併せて行い、約45名が参加しました。

おもな人事

△辞職▽

令和元年6月30日付け

専門調査員 調査及び立法考査局行政法務調査室主任 大寺 康弘

専門調査員 調査及び立法考査局国土交通調査室主任 須藤 晋

△異動▽※（ ）内は前職

令和元年7月1日付け

専門調査員 調査及び立法考査局行政法務調査室主任

（衆議院法制局第二部長）

千原 正敬

令和元年7月2日付け

専門調査員 調査及び立法考査局国土交通調査室主任 山下 修弘

山下 修弘

千原 正敬

山下 修弘

専門調査員 調査及び立法考査局国土交通調査室主任

山下 修弘

消費税率の引上げに伴う複写料金等の取扱いについて

令和元年10月1日から、消費税率（国・地方）が現在の8%から10%に引き上げられます。

これに伴い、複写料金等の消費税率も申込みの受付日（後日郵送複写の場合は当館発送日）が10月1日以降の分については、10%となります。

新刊案内

外国の立法 立法情報・翻訳・解説 第280号

アメリカ連邦議会上院規則改正 第116議会上院規則
アメリカの連邦資金公開に関する法改正—2014年D
ATA法の制定—

欧州検察局（EPPU）の設置に関する規則—EU財政
における不正対策の強化—
フランスにおける政治倫理向上のための立法



A4 122頁 季刊 1,800円（税別）
発売 日本図書館協会
ISBN 978-4-87582-841-9

レファレンス 821号

蔡英文政権と台湾統一地方選挙
船舶燃料における硫黄分の規制強化とその課題
英国における大臣の連帯責任
スウェーデンのペット飼養規制—犬猫飼養庁令（スウェーデン農業庁法令）2019年第28号—（資料）



A4 101頁 月刊 1,000円（税別）
発売 日本図書館協会

レファレンス 822号

オーストラリア憲法と緊急権
多様化した民泊の現状と課題
地方公共団体による独自のマイナンバーカード普及促進策—中国・四国地方における取組事例—（現地調査報告）
アイルランド憲法における「女性の役割」規定をめぐる議論（短報）

主要国における投票率—投票参加に影響を及ぼす要因と
国内外の取組事例—（資料）
慰安婦問題に関する韓国の動向—日韓合意前後の動きを
中心に—（2011〜2018年）—（資料）



A4 131頁 月刊 1,000円（税別）
発売 日本図書館協会

カレントアウェアネス 340号 創刊40周年記念特別号

『カレントアウェアネス』40周年に寄せて
『カレントアウェアネス』40年の歩み
『小特集・カレントアウェアネス40周年』
友愛が図書館の連帯を強化する…LCとNDLでの交流から
編集企画員を務めた12年間に振り返って
『カレントアウェアネス』50年に向けての期待

『日本目録規則2018年版』のはじまり…実装に向けて
灰色文献のいま〜2010年代の動向を中心に〜
「常識のカバーをはずそう」〜札幌市図書・情報館が変えた
こと、変えなかったこと〜
企業のアイデア発想法を参考にした企画・イベント展開
〜杉戸町立図書館の取り組み〜

阪神・淡路大震災関連文書に関する神戸市の取り組み…情
報発信の活性化に向けて
国際子ども図書館の中高生向けサービス…調べものの部屋
と調べもの体験プログラム



A4 36頁 季刊 400円（税別）
発売 日本図書館協会

入手のお問い合わせ
日本図書館協会

〒1104-0033 東京都中央区新川1-11-14
電話 03(3523)0812

訂正

本誌で次の誤りがありました。
698(2019年6月号)号「世界図書館紀行 東海岸二都物語」
6ページ 3段落4行目の「プレッシャー」の誤り
(編)1993年(正)1993年
お詫びして訂正いたします。

絵本に見る アートの100年

展示会

一枚紙からニュー・ペインティングまで
100 Years of Modern and Contemporary Art in Picture Books - From Dada to New Painting

入場
無料



1.『海と灯台の本』 ウラジーミル・マヤコフスキー 文 ホリス・ボクロフスキー 絵 松谷さやか 訳 新教出版社 2010
2.『16つの構成による2つの正方形についてのシュプレマティスムのお話』 エル・リシツキー 絵 Skify 1922
3.『アンリくん、パリへ行く』 ソール・バス 絵 レオノール・クライン 文 松浦弥太郎 訳 Pヴァイン・ブックス 2012

前期 2019年10月1日(火) - 11月17日(日)

後期 2019年11月19日(火) - 2020年1月19日(日)

会場 国際子ども図書館 レンガ棟3階 本のミュージアム

開館時間 9時30分～17時

休館日 月曜日、国民の祝日・休日、年末年始、
毎月第3水曜日(資料整理休館日)



International Library of Children's Literature

国立国会図書館 国際子ども図書館

9/10

NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2019.9/10

NO.701/702

SEPTEMBER /OCTOBER
2019

CONTENTS

- 01 <Book of the month - from NDL collections>
Quiz
700 Questions About Things Japanese
- 05 Lecture by Ms. Kadono Eiko: “Books I encountered in my childhood”
- 11 Travel writing on Japanese libraries:
Miyagi Prefectural Library
- 16 The things you can find on the NDL website (1)
- 21 Travel writing on world libraries:
Libraries in Tanzania
- 20 <Tidbits of information on NDL>
Anything and everything you wanted to know about the NDL facilities
- 28 <Books not commercially available>
Modoken to aruku
- 29 <NDL Topics>

国立国会図書館月報

令和元年9/10月号 (No.701/702)

令和元年9月1日発行

発行所 国立国会図書館
編集者 三浦良文
責任者

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03 (3581) 2331 (代表)
FAX 03 (3597) 5617
E-mail geppo@ndl.go.jp
<http://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋して転載される場合には、事前に当館総務部総務課にご連絡ください。
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>) >刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。



NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2019.9/10

 国立国会図書館
National Diet Library, Japan

図

国

国

書

人

士